④生態系

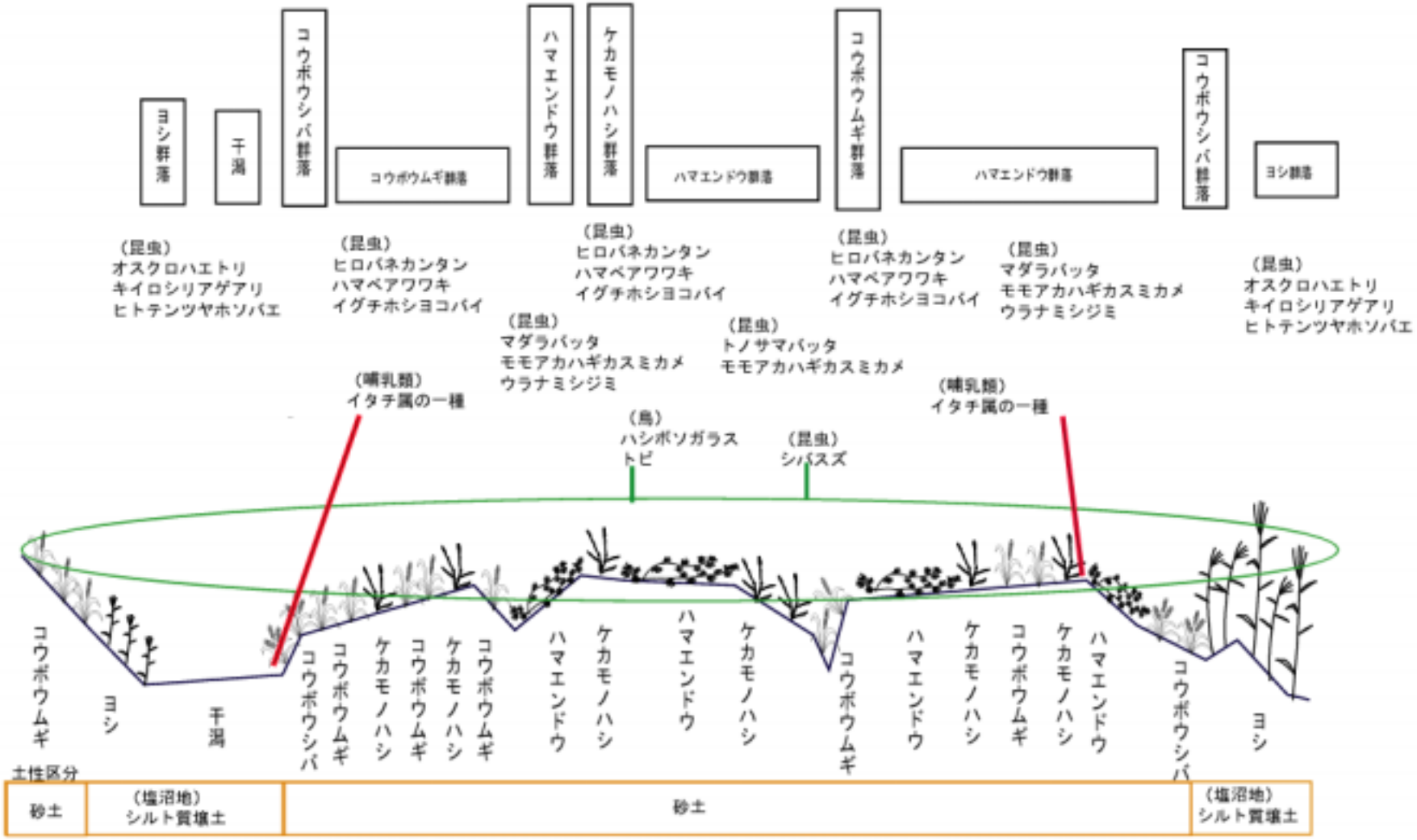
実際に秋季に調査した結果を用いて、先に示した動物の出現環境特性を基に、吉野川下流域にみられる植物と動物との関係を、次頁以降に模式図に整理しています。

植物は、塩分濃度、地形、土壌などの特性に応じて、見られる植物群落が異なります。そこで、河口の汽水域（海浜・干潟）、汽水域（塩沼地）、淡水域（停滞域）及び淡水域（流水域）に植物の状況を区分しています。それぞれの植物の区分毎に、動物と植物との関係を基に、出現した動物を断面に重ねています。そのため、動物種毎に好む環境は表現していますが、実際に調査で確認した動物の出現状況と異なります。

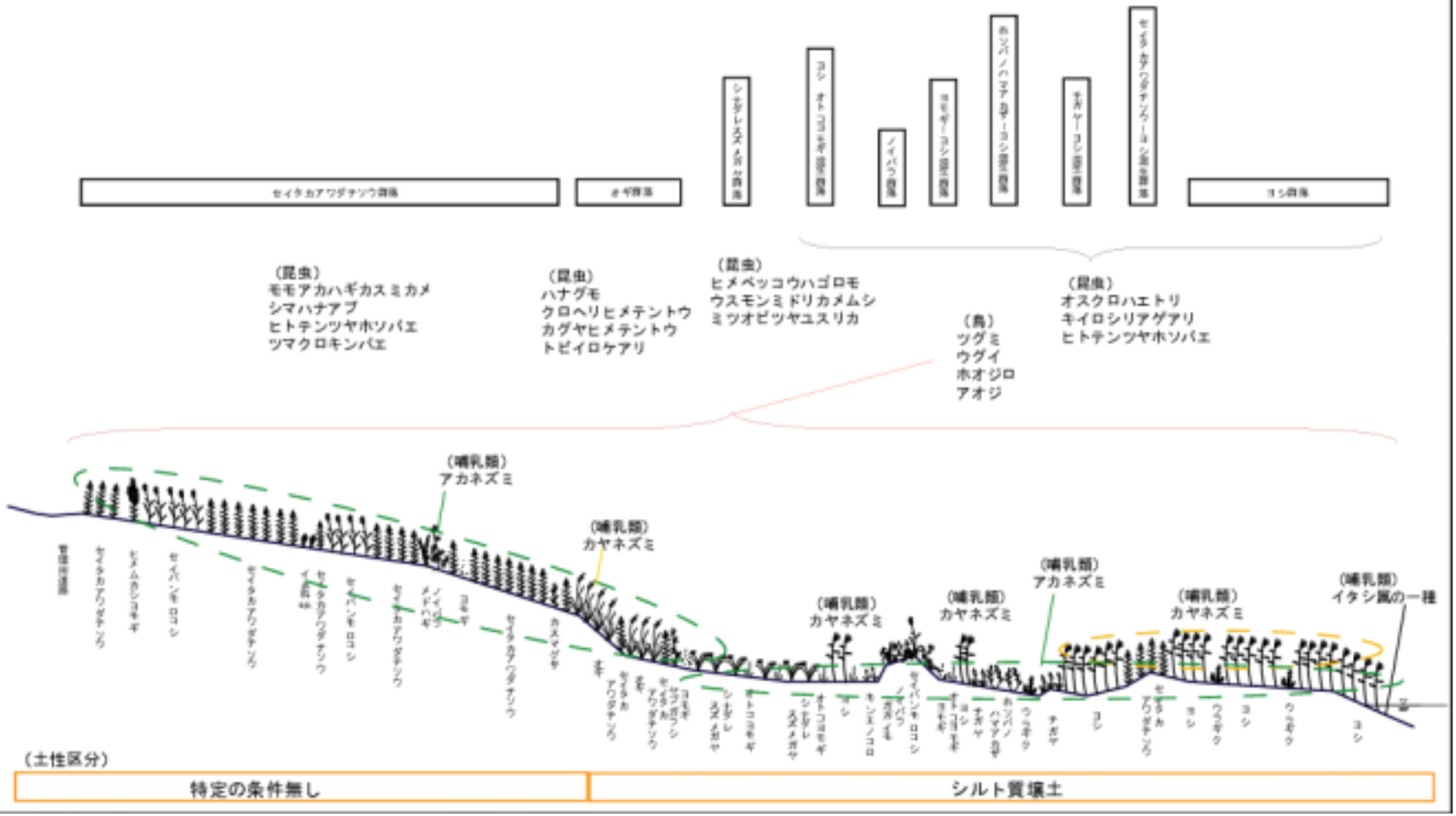
昆虫は植物群落に出現した優占種と依存種を植物毎に種名を挙げています。鳥類は植物の状況を踏まえて、出現する環境別に種名を示しています。哺乳類は移動経路を主に示しています。

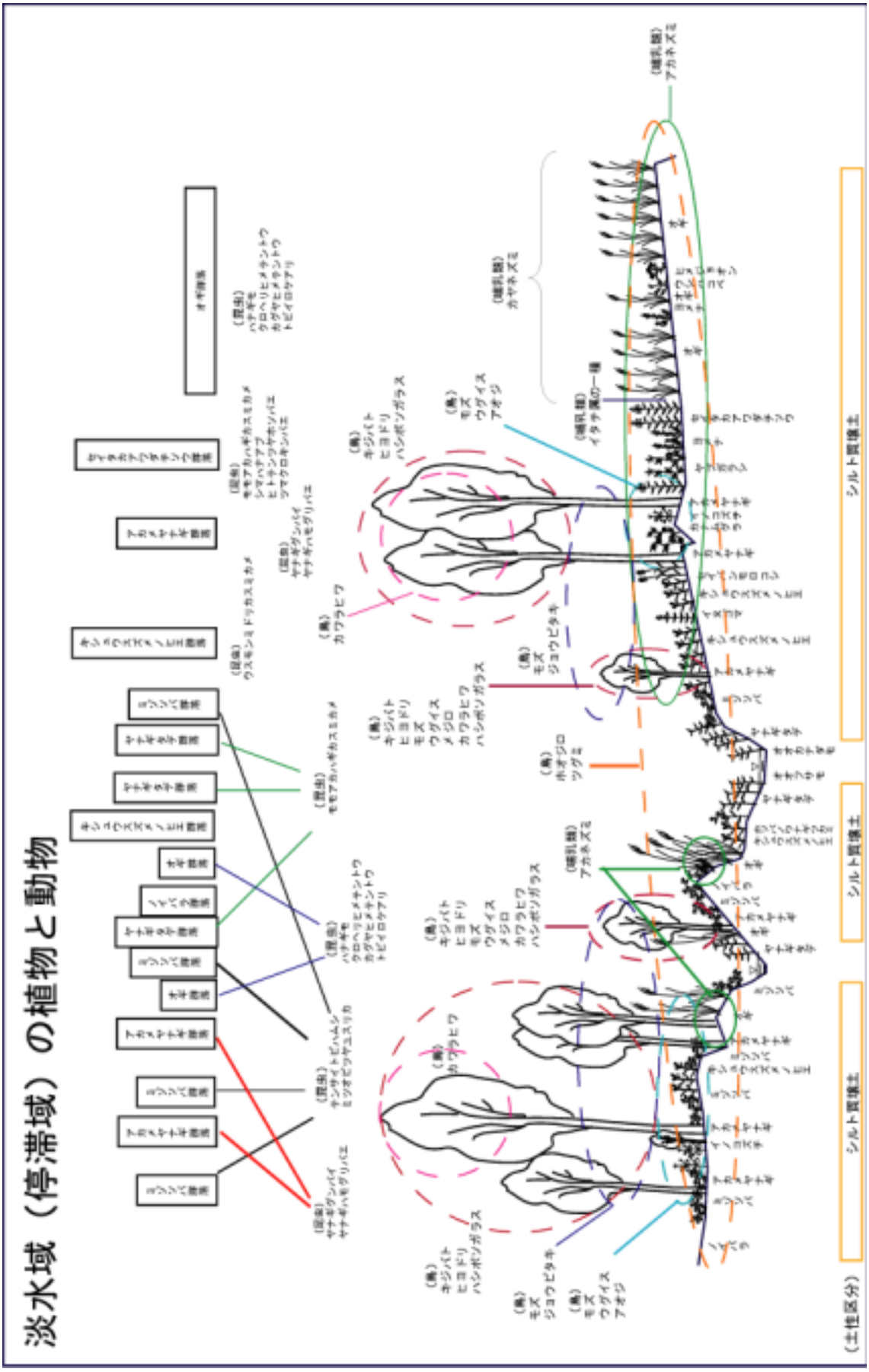
また、吉野川で最も多くの面積を占める淡水域（流水域）について、記載した種毎に、餌の状況が分かるようにした図も、参考までに示します。

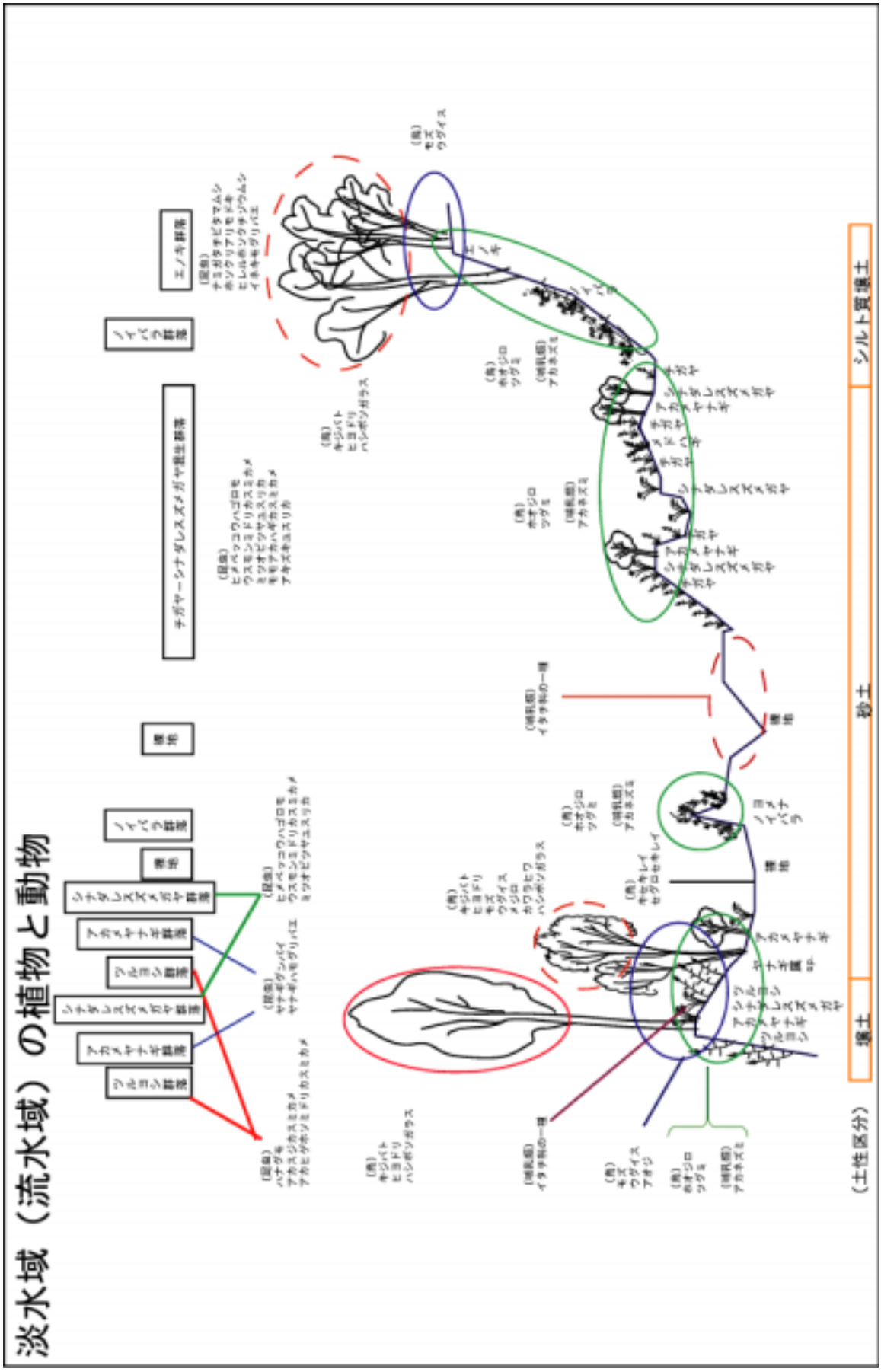
汽水域（海浜・干潟）の植物と動物

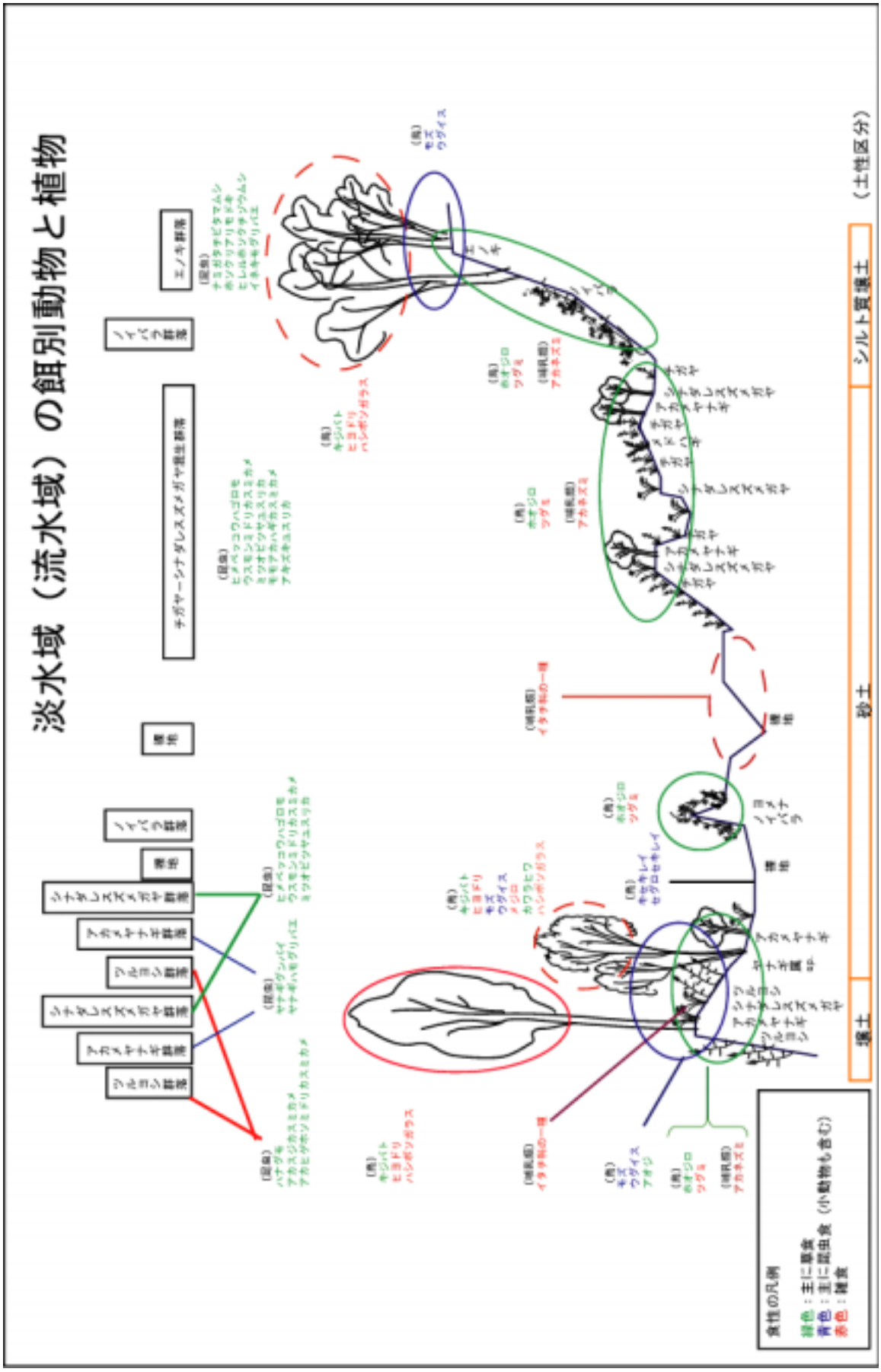


汽水域（塩沼地）の植物と動物




淡水域（停滞域）の植物と動物
シルト質壌土
シルト質壌土
シルト質壌土
（土性区分）


淡水域（流水域）の植物と動物
ヨシ群落
ツルヨシ群落
チガヤ－シナダレスズメガヤ群生群落
葦原
ツルヨシ群落
葦原
ふたかぶとくぼみ群落
ふたかぶとくぼみ群落
ふたかぶとくぼみ群落
ふたかぶとくぼみ群落
ふたかぶとくぼみ群落
ふたかぶとくぼみ群落
（昆虫）
ヒメベッコウハゴロモ
ウスモンミドリカスミカメ
ミツオビヤナギカスミカメ
（昆虫）
ヤナギダンバイ
ヤナギハモグリバエ
（昆虫）
ハナダキ
アカスジカスミカメ
アカヒゲホソミドリカスミカメ
（昆虫）
ヒメベッコウハゴロモ
ウスモンミドリカスミカメ
ミツオビヤナギカスミカメ
（昆虫）
ヒメベッコウハゴロモ
ウスモンミドリカスミカメ
ミツオビヤナギカスミカメ
アキズキカスミカメ
（昆虫）
ナミガタチビタマムシ
ホンクリアリモドキ
ヒレルホンクチゾウムシ
イネキモグリバエ
（鳥）
キジバト
ヒヨドリ
ハシボソガラス
（鳥）
キズ
ウグイス
（鳥）
キジバト
ヒヨドリ
ハシボソガラス
（鳥）
ホオジロ
ツグミ
（哺乳類）
アカネズミ
（鳥）
ホオジロ
ツグミ
（哺乳類）
アカネズミ
（哺乳類）
イタチ科の一種
（鳥）
ホオジロ
ツグミ
（哺乳類）
アカネズミ
（鳥）
キジバト
ヒヨドリ
キズ
ウグイス
メジロ
ホウロヒワ
ハシボソガラス
（鳥）
キセキレイ
セグロセキレイ
葦原
葦原
ミツバ
ツルヨシ
（鳥）
キジバト
ヒヨドリ
ハシボソガラス
（哺乳類）
イタチ科の一種
（鳥）
キズ
ウグイス
アオジ
（鳥）
ホオジロ
ツグミ
（哺乳類）
アカネズミ
（土性区分）
礫土
砂土
シルト質土


淡水域（流水域）の餌別動物と植物
ヨノキ群落
ハンノキ群落
チガヤ－シナダレスズメガヤ群生群落
草地
ハンノキ群落
草地
ふれあいの森群落
ふれあいの森群落
ふれあいの森群落
ふれあいの森群落
ふれあいの森群落
ふれあいの森群落
（昆虫）
（鳥）
（哺乳類）
（昆虫）
（鳥）
（哺乳類）
（昆虫）
（鳥）
（哺乳類）
（鳥）
（哺乳類）
（鳥）
（哺乳類）
（鳥）
（哺乳類）
（鳥）
（哺乳類）
（鳥）
（哺乳類）
（鳥）
（哺乳類）
（鳥）
（哺乳類）
草地
草地
草地